

## Ⅱ 第2学年

### 1 学年の目標

- (1) 目的や場面に応じ、社会生活にかかわることなどについて立場や考えの違いを踏まえて話す能力、考えを比べながら聞く能力、相手の立場を尊重して話し合う能力を身に付けさせるとともに、話したり聞いたりして考えを広げようとする態度を育てる。
- (2) 目的や意図に応じ、社会生活にかかわることなどについて、構成を工夫して分かりやすく書く能力を身に付けさせるとともに、文章を書いて考えを広げようとする態度を育てる。
- (3) 目的や意図に応じ、文章の内容や表現の仕方に注意して読む能力、広い範囲から情報を集め効果的に活用する能力を身に付けさせるとともに、読書を生活に役立てようとする態度を育てる。

### 2 第2学年の評価の観点の趣旨

評価の観点	評価の趣旨
国語への関心・意欲・態度	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、国語に対する認識を深め、話したり聞いたり書いたりして考えを広げ、読書を生活に役立てようとする。
話す・聞く能力	目的や場面に応じ、立場や考えの違いを踏まえて話したり、考えを比べながら聞いたり、相手の立場を尊重して話し合ったりしている。
書く能力	目的や意図に応じ、構成を工夫し、伝えたいことが効果的に伝わるように文章を書いている。
読む能力	目的や意図に応じ、内容や表現の仕方に注意して文章を読み、知識や体験と関連付けて自分の考えをもっている。
言語についての知識・理解・技能	伝統的な言語文化を楽しんだり、言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し使ったりするとともに、漢字の行書とそれに調和した仮名を書き、楷書又は行書を選んで書いている。

### 3 学習指導要領の内容、内容のまとめりごとの評価規準に盛り込むべき事項及び評価規準の設定例

#### (1) 「A 話すこと・聞くこと」

##### 【学習指導要領の内容】

- (1) 話すこと・聞くことの能力を育成するため、次の事項について指導する。
- ア 社会生活の中から話題を決め、話したり話し合ったりするための材料を多様な方法で集め整理すること。
  - イ 異なる立場や考えを想定して自分の考えをまとめ、話の中心的部分と付加的部分などに注意し、論理的な構成や展開を考えて話すこと。
  - ウ 目的や状況に応じて、資料や機器などを効果的に活用して話すこと。
  - エ 話の論理的な構成や展開などに注意して聞き、自分の考えと比較すること。
  - オ 相手の立場や考えを尊重し、目的に沿って話し合い、互いの発言を検討して自分の考えを広げること。
    - ・ 関連する〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕を含む。
- (2) (1)に示す事項については、例えば、次のような言語活動を通して指導するものとする。
- ア 調べて分かったことや考えたことなどに基づいて説明や発表をしたり、それらを聞いて意見を述べたりすること。
  - イ 社会生活の中の話題について、司会や提案者などを立てて討論を行うこと。

【「A 話すこと・聞くこと」の評価規準に盛り込むべき事項】

評価の観点	評価規準
国語への関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的や場面に応じ、立場や考えの違いを踏まえて話したり、考えを比べながら聞いたり、相手の立場を尊重して話し合ったりしようとしている。</li> </ul>
話す・聞く能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会生活の中から話題を決め、話したり話し合ったりするための材料を多様な方法で集め整理している。(ア)</li> <li>・異なる立場や考えを想定して自分の考えをまとめ、話の中心的な部分と付加的な部分などに注意し、論理的な構成や展開を考えて話している。(イ)</li> <li>・目的や状況に応じて、資料や機器などを効果的に活用して話している。(ウ)</li> <li>・話の論理的な構成や展開などに注意して聞き、自分の考えと比較している。(エ)</li> <li>・相手の立場や考えを尊重し、目的に沿って話し合い、互いの発言を検討して自分の考えを広げている。(オ)</li> </ul>
言語についての知識・理解・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話し言葉と書き言葉との違い、共通語と方言の果たす役割、敬語の働きなどについて理解して話したり聞いたりしている。(イ(ア))</li> <li>・抽象的な概念を表す語句、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解して話したり聞いたりし、語感を磨き語彙を豊かにしている。(イ(イ))</li> <li>・文の中の文の成分の順序や照応、文の構成などについて考えて話したり聞いたりしている。(イ(ウ))</li> <li>・単語の活用について理解し、助詞や助動詞などの働きに注意して話したり聞いたりしている。(イ(エ))</li> <li>・相手や目的に応じて、話の形態や展開に違いがあることを理解して話したり聞いたりしている。(イ(オ))</li> </ul>

『A 話すこと・聞くこと』における対応表（学習指導要領の内容、評価規準の設定例、岩手の中学生に身に付けさせたい力、問題番号）

言語活動例		アー1 調べて分かったことについて説明する言語活動を通した指導			
① 学習指導要領の内容		② 評価規準の設定例（国立教育政策研究所）	岩手の中学生に身に付けさせたい力	④問題番号 （●：授業中の活動）	
[国語への関心・意欲・態度]					
		・調べたり考えたりしたことなどについて、聞き手が理解しやすいように工夫して説明しようとしている。	<1>何についてどのように報告すればよいかの見通しをもつ <2>目的に沿って工夫して報告しようとしている <3>目的に沿って工夫して報告できたかを振り返る	●事前のワークシート ●報告場面（教師による観察） ●事後のワークシート	
[話す・聞く能力]					
話 や 題 取 設 材 定	ア 社会生活の中から話題を決め、話したり話し合ったりするための材料を様々な方法で集め整理すること。	・様々な情報手段を活用して材料を集め、説明の目的に応じて整理している。（ア）	<1>様々な情報手段を活用して材料を集める <2>集めた材料を目的に応じて整理する	【話聞1-問一】【話聞2-問一】 【話聞2-問二】	
話 す こ と	イ 異なる立場や考えを想定して自分の考えをまとめ、話の中心的部分と付加的な部分などに注意し、論理的な構成や展開を考えて話すこと。 ウ 目的や状況に応じて、資料や機器などを効果的に活用して話すこと。	・説明に対する聞き手の意見や質問を予想して、話の中心と付加的な部分との関係に注意し、分かりやすい構成や展開を考えて話している。（イ） ・分かりやすく説明するために、機器を活用して要点を示したり、写真や図などの資料を活用したりして話している。（ウ）	<1>聞き手の意見や質問を予想して話す <2>話の中心と付加的な部分との関係に注意して話す <3>分かりやすい構成や展開を考えて話す <4>機器を活用して要点を示す <5>写真や図などの資料を活用して話す	【話聞1-問二】【話聞2-問三】 【話聞1-問三】【話聞2-問四】 【話聞1-問四】 【話聞1-問五】 【話聞1-問六】【話聞2-問五】	
聞 く こ と	エ 話の論理的な構成や展開などに注意して聞き、自分の考えと比較すること。	・説明を聞いて、話の要点や根拠となっている事実などをとらえ、自分の考えと比較して納得できるかどうか判断している。（エ）	<1>話の要点や根拠となっている事実をとらえる <2>自分の考えと比較して納得できるかどうか判断する	※【話聞1-問三】※【話聞2-問四】 ●発表場面（ワークシート）	
う 話 こ し と 合	オ 相手の立場や考えを尊重し、目的に沿って話し合い、互いの発言を検討して自分の考えを広げること。	・説明を聞いて、質疑応答や意見交換をして、自分の考えを広げている。（オ）	<1>説明を聞いて質疑応答や意見交換をする <2>説明や質疑応答、意見交換から自分の考えを広げる	●話し合い場面（教師による観察） 【話聞1-問七】【話聞2-問六】	
言語についての知識・理解・技能					
イ	言葉の特徴や決まりに関する事項	・目的や場面に応じ、話し言葉と書き言葉との違い、共通語と方言の果たす役割、敬語の働きなどについて注意して話している。（イ(ア)） ・相手に分かりやすい説明をするために、類義語、対義語などに注意して話している。（イ(イ)） ・相手に分かりやすい説明をするために、文の中の文の成分の順序や照応、文の構成などについて工夫している。（イ(ウ)） ・分かりやすく説明するために、助詞や助動詞などの働きに注意している。（イ(エ)） ・相手や目的に応じて、話の形態や展開に違いがあることを理解して話している。（イ(オ)）	<1>話し言葉と書き言葉との違いに注意して話す <2>共通語と方言の果たす役割に注意して話す <3>敬語の働きについて注意して話す <4>類義語、対義語に注意して話す <5>文の中の文の成分の順序や照応について工夫する <6>文の構成について工夫する <7>助詞や助動詞の働きに注意する <8>相手や目的に応じて、話の形態や展開に違いがあることを理解して話す	【言語】 【言語】 【言語】 【言語】 【言語】 【言語】 【言語】	

言語活動例		アー2 古典を読んで気付いたことについて発表する言語活動を通した指導		
① 学習指導要領の内容	② 評価規準の設定例（国立教育政策研究所）	③岩手の中学生に身に付けさせたい力	④シート番号 （●：授業中の活動）	
[国語への関心・意欲・態度]				
	・調べたり考えたりしたことなどについて、聞き手が理解しやすいように工夫して説明しようとしている。	<1>何についてどのように説明すればよいかの見通しをもつ <2>目的に沿って工夫して説明しようとしている <3>目的に沿って工夫して説明できたかを振り返る	●事前のワークシート ●報告場面（教師による観察） ●事後のワークシート	
[話す・聞く能力]				
話 や 題 取 設 材 定	ア 社会生活の中から話題を決め、話したり話し合ったりするための材料を様々な方法で集め整理すること。			
話 す こ と	イ 異なる立場や考えを想定して自分の考えをまとめ、話の中心的部分と付加的な部分などに注意し、論理的な構成や展開を考えて話すこと。 ウ 目的や状況に応じて、資料や機器などを効果的に活用して話すこと。	・分かりやすく発表するために、機器を活用して話の中心を示したり、写真や図などの資料を活用したりして話している。（ウ）	<1>機器を活用して話の中心を示す <2>写真や図などの資料を活用して話す	【話聞3-問一】 【話聞4-問一】 【話聞3-問二】 【話聞4-問二】
聞 く こ と	エ 話の論理的な構成や展開などに注意して聞き、自分の考えと比較すること。			
う 話 こ し と 合	オ 相手の立場や考えを尊重し、目的に沿って話し合い、互いの発言を検討して自分の考えを広げること。	・発表を聞いて、質疑応答したり話し合ったりして、古典についての自分の考えを広げている。（オ）	<1>発表を聞いて、質疑応答したり話し合ったりする <2>発表や質疑応答、話し合いから、自分の考えを広げる	【話聞3-問三】 【話聞4-問三】 【話聞3-問四】 【話聞4-問四】
言語についての知識・理解・技能				
ア 伝統的な言語文化に関する事項	・古典に表れたものの見方や考え方に触れ、登場人物や作者の思いなどを想像している。（ア(イ)）	<1>古典に表れたものの見方や考え方に触れ、登場人物や作者の思いなどを想像する	●ワークシート	

言語活動例		イ 社会生活の話題について司会や提案者を立てて討論する言語活動を通した指導		
① 学習指導要領の内容	② 評価規準の設定例（国立教育政策研究所）	③岩手の中学生に身に付けさせたい力	④問題番号 （●：授業中の活動）	
[国語への関心・意欲・態度]				
	・異なる立場の考えを想定して、目的に沿って討論しようとしている。	<1>何についてどのように討論すればよいかの見通しをもつ <2>目的に沿って工夫して討論しようとしている <3>目的に沿って工夫して討論できたかを振り返る	●事前のワークシート ●討論場面（教師による観察） ●事後のワークシート	
[話す・聞く能力]				
話 や 題 取 設 材 定	ア 社会生活の中から話題を決め、話したり話し合ったりするための材料を様々な方法で集め整理すること。	・討論に向けて、様々な情報手段を活用して材料を集め、自分の意見を明確にしている。(ア)	<1>様々な情報手段を活用して材料を集める <2>材料をもとにして自分の意見を明確にする	【話聞5-問二】 【話聞5-問三】
話 す こ と	イ 異なる立場や考えを想定して自分の考えをまとめ、話の中心的部分と付加的な部分などに注意し、論理的な構成や展開を考えて話すこと。 ウ 目的や状況に応じて、資料や機器などを効果的に活用して話すこと。	・相手の反論や意見を予想して自分の考えをまとめ、自分の意見と根拠、予想される相手の意見への反論などを組み合わせて話を構成している。(イ) ・討論の際に説得力を高めるために、機器を活用して自分の意見の要点を示したり、グラフや表などの資料を活用して根拠を示したりしている。(ウ)	<1>相手の反論や意見を予想して自分の考えをまとめる <2>自分の意見と根拠、予想される相手の意見への反論を組み合わせて話を構成する <3>機器を活用して自分の意見の要点を示す <4>グラフや表などの資料を活用して根拠を示す	【話聞5-問四】 ※【話聞5-問四】 ●発表場面（教師による観察） 【話聞5-問五】
聞 く こ と	エ 話の論理的な構成や展開などに注意して聞き、自分の考えと比較すること。	・話の論理的な構成や展開などに注意して要点や根拠などを確かめながら聞き、自分の考えと比較して、賛成や反対などの判断をしている。(エ)	<1>話の論理的な構成や展開に注意して要点や根拠を確かめながら聞く <2>自分の考えと比較して話を聞き、賛成や反対の判断をする	●話し合い場面（ワークシート） ●話し合い場面（ワークシート）
話 う し こ 合 と	オ 相手の立場や考えを尊重し、目的に沿って話し合い、互いの発言を検討して自分の考えを広げること。	・目的に沿って提案や発言の内容を整理して話し合いを進行したり、理由や趣旨を明確にして提案したりするなど、討論の進め方を工夫している。(オ)	<1>目的に沿って提案や発言の内容を整理して話し合いを進行する <2>理由や趣旨を明確にして提案する	【話聞5-問七】【話聞5-問八】 【話聞5-問六】
言語についての知識・理解・技能				
ア 伝統的な言語文化に関する事項	・目的や場面に応じ、話し言葉と書き言葉との違い、共通語と方言の果たす役割、敬語の働きなどについて注意している。(イ(ア)) ・説得力のある話をするために、文の中の文の成分の順序や照応、文の構成などについて工夫している。(イ(ウ)) ・相手や目的に応じて、話の形態や展開の違いがあることを理解している。(イ(オ))	<1>話し言葉と書き言葉との違いに注意する <2>共通語と方言の果たす役割に注意する <3>敬語の働きなどについて注意する <4>文の中の文の成分の順序や照応について工夫する <5>文の構成について工夫する <6>話の形態や展開の違いがあることを理解して話す	【言語】 【言語】 【言語】 【言語】 ※【話聞5-問四】 【話聞5-問一】	

(2) 「B書くこと」

【学習指導要領の内容】

- (1) 書くことの能力を育成するため、次の事項について指導する。
- ア 社会生活の中から課題を決め、多様な方法で材料を集めながら自分の考えをまとめること。
  - イ 自分の立場及び伝えたい事実や事柄を明確にして、文章の構成を工夫すること。
  - ウ 事実や事柄、意見や心情が相手に効果的に伝わるように、説明や具体例を加えたり、描写を工夫したりして書くこと。
  - エ 書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係などに注意して、読みやすく分かりやすい文章にすること。
  - オ 書いた文章を互いに読み合い、文章の構成や材料の活用の仕方などについて意見を述べたり助言をしたりして、自分の考えを広げること。
  - ・ 関連する〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕を含む。
- (2) (1)に示す事項については、例えば、次のような言語活動を通して指導するものとする。
- ア 表現の仕方を工夫して、詩歌をつくったり物語などを書いたりすること。
  - イ 多様な考えができる事柄について、立場を決めて意見を述べる文章を書くこと。
  - ウ 社会生活に必要な手紙を書くこと。

【「B 書くこと」の評価規準に盛り込むべき事項】

評価の観点	評価規準
国語への関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 目的や意図に応じ、構成を工夫し、伝えたいことが効果的に伝わるように文章を書こうとしている。</li> </ul>
書く能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会生活の中から課題を決め、多様な方法で材料を集めながら自分の考えをまとめている。(ア)</li> <li>・ 自分の立場及び伝えたい事実や事柄を明確にして、文章の構成を工夫している。(イ)</li> <li>・ 事実や事柄、意見や心情が相手に効果的に伝わるように、説明や具体例を加えたり、描写を工夫したりして書いている。(ウ)</li> <li>・ 書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係などに注意して、読みやすく分かりやすい文章にしている。(エ)</li> <li>・ 書いた文章を互いに読み合い、文章の構成や材料の活用の仕方などについて意見を述べたり助言をしたりして、自分の考えを広げている。(オ)</li> </ul>
言語についての知識・理解・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 話し言葉と書き言葉との違い、共通語と方言の果たす役割、敬語の働きなどについて理解して書いている。(イ(ア))</li> <li>・ 抽象的な概念を表す語句、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解して書き、語感を磨き語彙を豊かにしている。(イ(イ))</li> <li>・ 文の中の文の成分の順序や照応、文の構成などについて考えて書いている。(イ(ウ))</li> <li>・ 単語の活用について理解し、助詞や助動詞などの働きに注意して書いている。(イ(エ))</li> <li>・ 相手や目的に応じて、文章の形態や展開に違いがあることを理解して書いている。(イ(オ))</li> <li>・ 学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。(ウ(イ))</li> </ul> <p>[書写]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書いている。(ア)</li> <li>・ 目的や必要に応じて、楷書又は行書を選んで書いている。(イ)</li> </ul>

『B 書くこと』における対応表（学習指導要領の内容、評価規準の設定例、岩手の中学生に身に付けさせたい力、問題番号）

言語活動例		ア 表現の仕方を工夫して詩をつくる言語活動を通した指導			
① 学習指導要領の内容		② 評価規準の設定例（国立教育政策研究所）	③岩手の中学生に身に付けさせたい力	④問題番号 （●：授業中の活動）	
[国語への関心・意欲・態度]					
		・自分の感動が読み手に伝わるように、言葉の使い方や構成を工夫して詩をつくらうとしている。	<1>何についてどのように書けばよいかの見通しをもつ <2>目的に沿って工夫して書こうとしている <3>目的に沿って工夫して書けたかを振り返る	●事前のワークシート ●討論場面（教師による観察） ●事後のワークシート	
[書く能力]					
題 や 材 取 設 材 定	ア 社会生活の中から課題を決め、多様な方法で材料を集めながら自分の考えをまとめること。	・詩をつくるために、身近な体験の中での自分の心の動きをまとめている。（ア）	<1>身近な体験の中での自分の心の動きをまとめる		【書く1-問一】【書く2-問一】
構 成	イ 自分の立場及び伝えたい事実や事柄を明確にして、文章の構成を工夫すること。	・感動の中心を明らかにして、詩の構成を工夫している。（イ）	<1>感動の中心を明らかにして、詩の構成を工夫する		【書く1-問二】【書く2-問二】
記 述	ウ 事実や事柄、意見や心情が相手に効果的に伝わるように、説明や具体例を加えたり、描写を工夫したりして書くこと。	・感動の中心が読み手に伝わるように、描写を工夫して詩をつくっている。（ウ）	<1>感動の中心が伝わるように、描写を工夫して詩をつくる		●記述場面（ワークシート）
推 敲	エ 書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係などに注意して、読みやすく分かりやすい文章にすること。	・つくった詩を読み返し、描写や全体の構成などに注意して、読み手に感動が伝わりやすい詩にしている。（エ）	<1>感動の中心が伝わるように、描写や全体の構成に注意して推敲する		【書く1-問三】【書く2-問三】
交 流	オ 書いた文章を互いに読み合い、文章の構成や材料の活用の仕方などについて意見を述べたり助言をしたりして、自分の考えを広げること。	・つくった詩を互いに読み合い、書き手の感動、描写や構成の効果などを観点とした感想を交流し、自分の考えを広げている。（オ）	<1>書き手の感動、描写や構成の効果などを観点とした感想を交流する <2>交流した感想から、自分の考えを広げる		【書く1-問四】【書く2-問四】 【書く2-問五】
言語についての知識・理解・技能					
イ 言葉の特徴やき まりに関する事項	・自分の感動を効果的に表現するために、助詞や助動詞の働きに注意して、詩に使う言葉を決めている（イ(エ)） ・学年別漢字配当表に示されている漢字を適切に使うとともに、仮名で表現する効果についても考えて詩をつくっている。（ウ(イ)） [書写] ・詩を清書する際に、楷書または行書を選んで書いている。（イ）	<1>助詞や助動詞の働きに注意する		【言語】	
ウ 漢字に関する事項		<2>学年別漢字配当表に示されている漢字を適切に使う <3>仮名で表現する効果について考える		【言語】 【言語】	
		<4>楷書または行書を選んで書く		【言語】	

言語活動例		イ 多様な考えができる事柄について立場を決めて意見を述べる文章を書く言語活動を通した指導		
① 学習指導要領の内容	② 評価規準の設定例（国立教育政策研究所）	③岩手の中学生に身に付けさせたい力	④問題番号 （●：授業中の活動）	
[国語への関心・意欲・態度]				
	・自分の立場や意見が読み手に伝わるように、根拠を明らかにして文章を書こうとしている。	<1>何についてどのように書けばよいかの見通しをもつ <2>目的に沿って工夫して書こうとしている <3>目的に沿って工夫して書けたかを振り返る	●事前のワークシート ●討論場面（教師による観察） ●事後のワークシート	
[書く能力]				
題 や 材 取 設 材 定	ア 社会生活の中から課題を決め、多様な方法で材料を集めながら自分の考えをまとめること。	・社会生活の中から課題を決め、学校図書館等を活用して材料を集め、自分の意見をまとめている。（ア）	<1>社会生活の中から課題を決める <2>学校図書館等を活用して材料を集める <3>集めた材料をもとに自分の意見をまとめる	●課題決定場面（観察） 【書く3-問一】【書く4-問一】 【書く4-問二】
構 成	イ 自分の立場及び伝えたい事実や事柄を明確にして、文章の構成を工夫すること。	・自分の立場や意見を明らかにして、それを表明する部分を文章のどこに置くかについて考えている。（イ）	<1>自分の立場や意見を表明する部分を文章のどこに置くかについて考える	【書く3-問二】【書く4-問三】
記 述	ウ 事実や事柄、意見や心情が相手に効果的に伝わるように、説明や具体例を加えたり、描写を工夫したりして書くこと。	・自分の立場や意見が効果的に伝わるように、根拠を説明したり具体例を用いたりして文章を書いている。（ウ）	<1>根拠を説明する文章を書く <2>具体例を用いて文章を書く	【書く3-問三】 【書く4-問四】
推 敲	エ 書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係などに注意して、読みやすく分かりやすい文章にすること。	・意見と根拠との関係、文や段落のつながりなどに注意して、読み手に伝わりやすい文章にしている。（エ）	<1>意見と根拠との関係に注意して推敲する <2>文や段落のつながりに注意して推敲する	【書く4-問四】 【書く3-問四】
交 流	オ 書いた文章を互いに読み合い、文章の構成や材料の活用の仕方などについて意見を述べたり助言をしたりして、自分の考えを広げること。	・書いた文章を互いに読み合い、課題に対する立場や意見の根拠の妥当性、文や段落のつながりなどを観点とした意見を述べ、自分の考えを広げている。（オ）	<1>課題に対する立場や意見の根拠の妥当性を観点とした意見を述べる <2>文や段落のつながりを観点とした意見を述べる <3>述べられた意見をもとに自分の考えを広げる	【書く3-問五】【書く4-問五】 【書く3-問六】 ●学習のまとめ場面（ワークシート）
言語についての知識・理解・技能				
イ 言葉の特徴やきまりに関する事項	・自分の考えを明確に表現するために、辞書を活用するなどして、言葉の意味を吟味しながら文章を書いている。（イ(イ)） ・主語と述語や修飾語と被修飾語の照応に注意し、書き手の意図が明確に伝わるように文章を書いている。（イ(ウ)） ・読み手に自分の考えやその根拠などが効果的に伝わるように文章の展開を工夫している。（イ(オ)） ・学年別漢字配当表に示されている漢字を適切に使って文章を書いている。（ウ(イ)）	<1>辞書を活用して言葉の意味を吟味する	【言語】	
ウ 漢字に関する事項		<2>主語と述語や修飾語と被修飾語の照応に注意する	【言語】	
		<3>読み手に自分の考えやその根拠などが効果的に伝わるように文章の展開を工夫する	※【書く3-問二】	
		<4>学年別漢字配当表に示されている漢字を適切に使う	【言語】	



言語活動例		ウ 社会生活に必要なお礼の手紙を書く言語活動を通した指導		
① 学習指導要領の内容	② 評価規準の設定例 (国立教育政策研究所)	③岩手の中学生に身に付けさせたい力	④問題番号 (●: 授業中の活動)	
[国語への関心・意欲・態度]				
	・手紙の形式を整えて、お世話になった相手への感謝の気持ちを表す手紙を書こうとしている。	<1>何についてどのように書けばよいかの見通しをもつ <2>目的に沿って工夫して書こうとしている <3>目的に沿って工夫して書けたかを振り返る	●事前のワークシート ●討論場面 (教師による観察) ●事後のワークシート	
[書く能力]				
題 や 材 取 設 材 定	ア 社会生活の中から課題を決め、多様な方法で材料を集めながら自分の考えをまとめること。	・お礼の手紙を書くために、相手に伝えたいことを具体的に挙げている。(ア)	<1>相手に伝えたいことを具体的に挙げる	
構 成	イ 自分の立場及び伝えたい事実や事柄を明確にして、文章の構成を工夫すること。	・相手に伝えたいお礼の内容の中心を明確にし、手紙の形式に沿って構成を考えている。(イ)	<1>お礼の内容の中心を明確にする <2>手紙の形式に沿って構成を考える	
記 述	ウ 事実や事柄、意見や心情が相手に効果的に伝わるように、説明や具体例を加えたり、描写を工夫したりして書くこと。	・相手に対する感謝の気持ちが伝わるように、印象に残る出来事やその時の思いを具体的に書いている。(ウ)	<1>印象に残る出来事やその時の思いを具体的に書く	
推 敲	エ 書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係などに注意して、読みやすく分かりやすい文章にすること。	・相手への配慮、言葉の使い方、手紙の形式などに注意して、感謝の気持ちが相手に伝わりやすい手紙にしている。(エ)	<1>相手への配慮に注意して推敲する <2>言葉の使い方に注意して推敲する <3>手紙の形式に注意して推敲する	
交 流	オ 書いた文章を互いに読み合い、文章の構成や材料の活用の仕方などについて意見を述べたり助言をしたりして、自分の考えを広げること。	・書いた手紙を互いに読み合い、書き手の気持ちの表現、言葉の使い方などについて意見を述べたり、助言し合ったりしている。(オ)	<1>書き手の気持ちの表現を観点に話し合う <2>言葉の使い方を観点に話し合う	
言語についての知識・理解・技能				
イ 言葉の特徴やきまりに関する事項	・相手に対する自分の気持ちが適切に伝わるように、書き言葉における敬語の使い方に注意して文章を書いている。(イ(ア)) ・目上の人に対する手紙を書くために、書式を整えて文章を書いている。(イ(ウ)) ・学年別漢字配当表に示されている漢字を適切に使って手紙を書いている。(ウ(イ)) [書写] ・漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して手紙を書いている。(ア)	<1>書き言葉における敬語の使い方に注意する		【言語】
ウ 漢字に関する事項		<2>書式を整えて文章を書く		※【書く 5-問三】
		<3>学年別漢字配当表に示されている漢字を適切に使う		【言語】
		<4>漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して書く		【言語】

(3) 「C読むこと」

【学習指導要領の内容】

- (1) 読むことのできる能力を育成するため、次の事項について指導する。
- ア 抽象的な概念を表す語句や心情を表す語句などに注意して読むこと。
  - イ 文章全体と部分との関係、例示や描写の効果、登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てること。
  - ウ 文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをまとめること。
  - エ 文章に表れているものの見方や考え方について、知識や体験と関連付けて自分の考えをもつこと。
  - オ 多様な方法で選んだ本や文章などから適切な情報を得て、自分の考えをまとめること。
- ・ 関連する〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕を含む。
- (2) (1)に示す事項については、例えば、次のような言語活動を通して指導するものとする。
- ア 詩歌や物語などを読み、内容や表現の仕方について感想を交流すること。
  - イ 説明や評論などの文章を読み、内容や表現の仕方について自分の考えを述べること。
  - ウ 新聞やインターネット、学校図書館等の施設などを活用して得た情報を比較すること。

【「C読むこと」の評価規準に盛り込むべき事項】

評価の観点	評価規準
国語への関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 目的や意図に応じ、内容や表現の仕方に注意して文章を読み、知識や体験と関連付けて自分の考えをもとうとしている。</li> </ul>
書く能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 抽象的な概念を表す語句や心情を表す語句などに注意して読んでいる。(ア)</li> <li>・ 文章全体と部分との関係、例示や描写の効果、登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立っている。(イ)</li> <li>・ 文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをまとめている。(ウ)</li> <li>・ 文章に表れているものの見方や考え方について、知識や体験と関連付けて自分の考えをもっている。(エ)</li> <li>・ 多様な方法で選んだ本や文章などから適切な情報を得て、自分の考えをまとめている。(オ)</li> </ul>
言語についての知識・理解・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界を楽しんでいる。(ア(ア))</li> <li>・ 古典に表れたものの見方や考え方に触れ、登場人物や作者の思いなどを想像している。(ア(イ))</li> <li>・ 話し言葉と書き言葉との違い、共通語と方言の果たす役割、敬語の働きなどについて理解して読んでいる。(イ(ア))</li> <li>・ 抽象的な概念を表す語句、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解して読み、語感を磨き語彙を豊かにしている。(イ(イ))</li> <li>・ 文の中の文の成分の順序や照応、文の構成などについて考えて読んでいる。(イ(ウ))</li> <li>・ 単語の活用について理解し、助詞や助動詞などの働きに注意して読んでいる。(イ(エ))</li> <li>・ 相手や目的に応じて、文章の形態や展開に違いがあることを理解して読んでいる。(イ(オ))</li> <li>・ 第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から350字程度までの漢字を読んでいる。(ウ(ア))</li> </ul>

『C 読むこと』における対応表（学習指導要領の内容、評価規準の設定例、岩手の中学生に身に付けさせたい力、教科書の単元、問題番号）

言語活動例		アー1 物語を読み、内容や表現の仕方について感想を交流する言語活動を通じた指導			
① 学習指導要領の内容		② 評価規準の設定例（国立教育政策研究所）	③岩手の中学生に身に付けさせたい力	④問題番号 （●：授業中の活動）	
[国語への関心・意欲・態度]					
		・物語について感想をもち、交流して考えを深めようとしている。	<1>何についてどのように読めばよいかの見通しをもつ <2>目的に沿って読もうとしている <3>目的に沿って読むことができたかを振り返る	●事前のワークシート ●討論場面（教師による観察） ●事後のワークシート	
[読む能力]					
味語の句理の解意	ア 抽象的な概念を表す語句や心情を表す語句などに注意して読むこと。	・心情や情景を表す語句について、体験や読書経験を生かして理解し、自分の感想をもっている。（ア）	<1>心情や情景を表す語句について経験を生かして理解する <2>理解したことをもとに、自分の感想をもつ	【読む1-問一】【読む2-問一】 ●読み取り場面（ワークシート）	
文章の解釈	イ 文章全体と部分の関係、例示や描写の効果、登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てること。	・描写の効果や登場人物の言動の意味などを考えて物語の内容を理解し、自分の感想をもっている。（イ）	<1>描写の効果を考えて物語の内容を理解する <2>登場人物の言動の意味を考えて物語の内容を理解する <3>理解したことをもとに、自分の感想をもつ	【読む1-問三】【読む2-問二】 【読む1-問四】【読む2-問三】 ●読み取り場面（ワークシート）	
考自分の形成	ウ 文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをまとめること。 エ 文章に表れているものの見方や考え方について、知識や体験と関連付けて自分の考えを持つこと。	・感想を交流するために、物語の構成や展開、描写や比喩などの表現について、具体的な部分を取り上げて考えをまとめている。（ウ） ・物語に表れているものの見方や考え方について、自分の知識や経験と関連付けて感想をまとめ、交流して深めている。（エ）	<1>感想を交流するために、物語の構成や展開について具体的な部分を取り上げて考えをまとめる <2>感想を交流するために、描写や比喩などの表現について具体的な部分を取り上げて考えをまとめる <3>物語に表れているものの見方や考え方について、自分の知識や経験と関連付けて感想をまとめる <4>物の見方や考え方についての感想を交流して深める	【読む1-問二】【読む2-問五】 【読む1-問五】【読む2-問四】 【読む1-問六】【読む2-問六】 ●意見交流場面（ワークシート）	
情読書活と用	カ 多様な方法で選んだ本や文章などから適切な情報を得て、自分の考えをまとめること。	・図書館などを利用して関連する資料などを読み、自分の感想をまとめるのに役立っている。（カ）	<1>図書館などを利用して関連する資料などを読む <2>読み取ったことを自分の感想をまとめるのに役立てる	●意見交換場面（ワークシート） ●意見交換場面（ワークシート）	
言語についての知識・理解・技能					
イ 言葉の特徴やきまりに関する事項	・話し言葉と書き言葉との違い、共通語と方言の果たす役割、敬語の働きなどについての理解を、文章を読むことに役立っている。（イ(ア)） ・文章を読む際に、抽象的な概念を表す語句、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などに注意している。（イ(イ)） ・物語によって文章の形態や展開に違いがあることを意識しながら読んでいる。（イ(ウ)） ・文章に用いられている漢字を正しく読んでいる。（ウ(ア)）	<1>話し言葉と書き言葉の違いの理解を読み役に役立てる <2>共通語と方言の果たす役割の理解を読み役に役立てる <3>敬語の働きについての理解を読み役に役立てる <4>抽象的な概念を表す語句に注意して読む <5>類義語と対義語に注意して読む <6>同音異義語や多義的な意味を表す語句に注意して読む <7>文章の形態や展開に違いがあることを意識しながら読む <8>漢字を正しく読む	【言語】 【言語】 【言語】 【言語】 【言語】 【言語】 ※【読む1-問二】※【読む1-問五】 ※【読む2-問五】 【言語】		

言語活動例		アー2 古文や漢文を読み感想を交流する言語活動を通した指導		
① 学習指導要領の内容	② 評価規準の設定例（国立教育政策研究所）	③ 評価規準の岩手の中学生に身に付けさせたい力	④ 問題番号 （●：授業中の活動）	
[国語への関心・意欲・態度]				
	・古文や漢文について感想をもち、交流して考えを深めようとしている。	<1>何についてどのように読めばよいかの見通しをもつ <2>目的に沿って読もうとしている <3>目的に沿って読むことができたかを振り返る	●事前のワークシート ●討論場面（教師による観察） ●事後のワークシート	
[読む能力]				
味語の句理解意	ア 抽象的な概念を表す語句や心情を表す語句などに注意して読むこと。			
文章の解釈	イ 文章全体と部分の関係、例示や描写の効果、登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てること。	・描写の効果や登場人物の言動の意味などを考えて古文や漢文の内容を理解し、自分の感想をもっている。（イ）	<1>描写の効果を考えて内容を理解する <2>登場人物の言動の意味を考えて内容を理解する <3>自分の感想をもつ	【読む3-問一】【読む4-問一】 【読む3-問二】 ●読み取り場面（ワークシート）
考自分の形成	ウ 文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをまとめること。	・感想を交流するために、古文や漢文の構成や展開、描写や比喻などの表現について、具体的な部分を取り上げて考えをまとめている。（ウ）	<1>感想を交流するために、構成や展開について具体的な部分を取り上げて考えをまとめる <2>感想を交流するために、描写や比喻の表現について具体的な部分を取り上げて考えをまとめる	【読む3-問三】【読む4-問二】 【読む3-問四】【読む4-問三】
	エ 文章に表れているものの見方や考え方について、知識や体験と関連付けて自分の考えを持つこと。	・古文や漢文に表れているものの見方や考え方について、自分の知識や経験と関連付けて感想をまとめ、交流して深めている。（エ）	<3>自分の知識や経験と関連付けて感想をまとめる <4>感想を交流して深める	【読む3-問五】【読む4-問四】 ●交流場面（ワークシート）
情読書活用	カ 多様な方法で選んだ本や文章などから適切な情報を得て、自分の考えをまとめること。			
言語についての知識・理解・技能				
ア 伝統的な言語文化に関する事項	・作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界を楽しんでいる。（ア(ア)）	<1>作品の特徴を生かして朗読する <2>古典の世界を楽しむ	●朗読場面（教師による観察） ●感想記述場面（ワークシート）	

言語活動例		イ 評論の文章を読み、内容や表現の仕方について自分の考えを述べる言語活動を通した指導		
① 学習指導要領の内容	② 評価規準の設定例（国立教育政策研究所）	③岩手の中学生に身に付けさせたい力	④問題番号 （●：授業中の活動）	
[国語への関心・意欲・態度]				
	・評論の文章を読んで内容や表現の仕方について考え、自分のものの見方や考え方を広げようとしている。	<1>何についてどのように読めばよいかの見通しをもつ <2>目的に沿って読もうとしている <3>目的に沿って読むことができたかを振り返る	●事前のワークシート ●討論場面（教師による観察） ●事後のワークシート	
[読む能力]				
味語の句理解意	ア 抽象的な概念を表す語句や心情を表す語句などに注意して読むこと。	・評論の文章を読んで自分の考えを述べるために、論の展開の上で重要な役割を果たしている語句に注意しながら読んでいる。（ア）	<1>自分の考えを述べるために、論の展開の上で重要な役割を果たしている語句に注意しながら読む	【読む5-問一】【読む6-問一】
文章の解釈	イ 文章全体と部分の関係、例示や描写の効果、登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てること。	・評論の文章を読んで自分の考えを述べるために、各段落が文章全体の中で果たしている役割をとらえたり、叙述の順序に注意して読んで、内容の理解に役立てている。（イ）	<1>自分の考えを述べるために、各段落が文章全体の中で果たしている役割をとらえる <2>自分の考えを述べるために、叙述の順序に注意して読む	【読む5-問二】【読む6-問二】 【読む5-問三】【読む6-問三】
考自分の形成	ウ 文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをまとめること。	・評論の文章を読んで、文章の構成や展開の工夫について、根拠となる部分をあげて自分の考えをもっている。（ウ）	<1>文章の構成や展開の工夫について、根拠となる部分をあげて自分の考えをもつ	【読む5-問四】【読む6-問四】
	エ 文章に表れているものの見方や考え方について、知識や体験と関連付けて自分の考えを持つこと。	・評論の文章を読んで、物事の善し悪しや価値等に関する書き手の考え方について、自分の知識や体験と関連付けながら考えをもっている。（エ）	<2>テーマについて、自分の知識や体験と関連付けながら考えをもつ	【読む5-問五】【読む6-問五】
情報書活と用	カ 多様な方法で選んだ本や文章などから適切な情報を得て、自分の考えをまとめること。	・評論の文章のテーマについて、自分の考えを補強したり修正したりするために、図書館や情報通信ネットワークなどを活用して情報を探している。（オ）	<1>自分の考えを補強したり修正したりするために、図書館や情報通信ネットワークなどで情報を探す	●調査場面（ワークシート）
言語についての知識・理解・技能				
イ 言葉の特徴やきまりに関する事項 ウ 漢字に関する事項	・評論の文章を読む際に、重要な役割を果たしている抽象的な概念を表す語句に着目し、その語句が表す具体的な中身を考えている。（イ(イ)）	<1>抽象的な概念を表す語句に着目し、その語句が表す具体的な中身を考える	※【読む5-問一】※【読む6-問一】	
	・評論の文章を読む際に、意味の取りにくい文について、主語と述語の照応、修飾語と被修飾語の照応を明らかにしながら理解している。（イ(ウ)）	<2>主語と述語の照応を明らかにして文を理解する。 <3>修飾語と被修飾語の照応を明らかにしながら文を理解する	【言語】 【言語】	
	・文章に用いられている漢字を正しく読んでいる。（ウ(イ)）	<4>文章に用いられている漢字を正しく読む	【言語】	

言語活動例		ウ 新聞で得た情報とインターネットで得た情報とを比較する言語活動を通した指導		
① 学習指導要領の内容	② 評価規準の設定例（国立教育政策研究所）	③岩手の中学生に身に付けさせたい力	④問題番号 （●：授業中の活動）	
[国語への関心・意欲・態度]				
	・新聞とインターネットで得た情報を読み、情報の特徴について考えを深めようとしている。	<1>何についてどのように読めばよいかの見通しをもつ <2>目的に沿って読もうとしている <3>目的に沿って読むことができたかを振り返る	●事前のワークシート ●討論場面（教師による観察） ●事後のワークシート	
[読む能力]				
味語の句理解意	ア 抽象的な概念を表す語句や心情を表す語句などに注意して読むこと。	・情報の特徴を考えるために、新聞とインターネットの記事について、抽象的な概念を表す語句や書き手の思いを表す語句に注意して読んでいる。（ア）	<1>情報の特徴を考えるために、抽象的な概念を表す語句に注意して読む <2>情報の特徴を考えるために、書き手の思いを表す語句に注意して読む	【読む7-問一】 【読む7-問二】
文章の解釈	イ 文章全体と部分の関係、例示や描写の効果、登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てること。	・情報の特徴を考えるために、新聞とインターネットの記事について、見出しと本文との関係、例示の効果等を比較して読んでいる。（イ）	<1>情報の特徴を考えるために、見出しと本文との関係を比較して読む <2>情報の特徴を考えるために、例示の効果を比較して読む	【読む7-問四】 【読む7-問三】
考自の形成	ウ 文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをまとめること。	・新聞とインターネットの記事について、文章の構成や表現の仕方に着目し、具体的な箇所を引用しながら情報の特徴の違いをまとめている。（ウ）	<1>文章の構成に着目し、具体的な箇所を引用しながら情報の特徴の違いをまとめる <2>表現の仕方に着目し、具体的な箇所を引用しながら情報の特徴の違いをまとめる	【読む7-問五】 【読む7-問六】
	エ 文章に表れているものの見方や考え方について、知識や体験と関連付けて自分の考えを持つこと。	・情報の特徴について、自分の知識や体験と関連付けながら考えをまとめている。（エ）	<3>情報の特徴について、自分の知識や体験と関連付けながら考えをまとめる	【読む7-問七】
情読書活用	カ 多様な方法で選んだ本や文章などから適切な情報を得て、自分の考えをまとめること。	・自ら設定した課題について複数の方法で得た情報を比較し、目的や意図に応じて選択して自分の考えをまとめている。（カ）	<1>自ら設定した課題について複数の方法で得た情報を比較し、目的や意図に応じて選択して自分の考えをまとめる	●まとめ場面（ワークシート）
言語についての知識・理解・技能				
イウ	言葉の特徴やきまりに関する事項	・新聞とインターネットに出てくる抽象的な概念を表す語句や多義的な意味を表す語句について理解している。（イ(イ)）	<1>抽象的な概念を表す語句について理解する <2>多義的な意味を表す語句について理解する	※【読む7-問一】 【言語】
	漢字に関する事項	・見出しなどにおける助詞や助動詞の効果について考えている。（イ(エ)） ・新聞とインターネットにおける文章の形態や展開の違いについて考えている。（イ(オ)） ・文章に用いられている漢字を正しく読んでいる。（ウ(イ)）	<3>助詞や助動詞の効果について考える <4>文章の形態や展開の違いについて考える <5>文章に用いられている漢字を正しく読む	【言語】 ※【読む7-問五】※【読む7-問六】 【言語】